# 総合プログラム

## （公社）日本実験動物学会通常総会（学会賞授賞式および受賞講演）

**5月25日（木） 13:00 ～ 15:20　　第1会場（2F　メインホール）**

### ■功労賞

喜多　正和（京都府立医科大学）
高倉　彰　（実験動物中央研究所）

### ■安東・田嶋賞

理事長：三好　一郎（東北大学）

**L-1　マウス肝炎ウイルスのマウス個体の感染防御機構およびマウス個体間での伝播に関する研究**

○久和　茂

東京大学大学院農学生命科学研究科

### ■奨励賞

理事長：三好　一郎（東北大学）

**L-2　筋拘縮型エーラスダンロス症候群の疾患モデル動物の開発と解析**

○吉沢　隆浩

信州大学基盤研究支援センター動物実験支援部門

## 国際賞

**5月24日（水） 16:00 ～ 17:00 第3会場（2F　中会議室202・201）**

座　長：竹尾　　透（熊本大学）
Dinh Thi Huong Tra（理化学研究所）

**IA-1　The construction of experimental animal models for cardiovascular diseases and pathology mechanism study**

○Xiaoliang Jiang[1)], Xue Liu[1)], Xing Liu[1)], Yunpeng Liu[1)], Duan Shun[2)], Fu-Jian Xu[2)], Zhiwei Yang[1)]

[1)]Institute of Laboratory Animal Science, Chinese Academy of Medical Sciences,
[2)]Key Lab of Biomedical Materials of Natural Macromolecules, Beijing University of Chemical Technology

**IA-2　IL-21-triggered Blimp-1 counterbalances c-Maf-driven IL-21 overproduction in an autoregulatory circuit to maintain immune homoeostasis**

○Yu-Wen Liu[1)], Shin-Huei Fu[2,3)], Ming-Wei Chien[2,3)], Chao-Yuan Hsu[3,4)], Ming-Hong Lin[5)], Jia-Ling Dong[4)], Rita Jui-Hsien Lu[6,7)], Yi-Jing Lee[6)], Pao-Yang Chen[6)], Chih-Hung Wang[8)], Huey-Kang Sytwu[1,2,3,4)]

[1)]Molecular and Cell Biology, Taiwan International Graduate Program, Academia Sinica and Graduate Institute of Life Sciences, National Defense Medical Center, Taipei, Taiwan, Republic of China,
[2)]National Institute of Infectious Disease and Vaccinology, National Health Research Institutes, Miaoli, Taiwan, Republic of China,
[3)]Department and Graduate Institute of Microbiology and Immunology, National Defense Medical Center, Taipei, Taiwan, Republic of China,
[4)]Graduate Institute of Life Sciences, National Defense Medical Center, Taipei, Taiwan, Republic of China,
[5)]Department of Microbiology and Immunology, School of Medicine, College of Medicine, Kaohsiung Medical University, Kaohsiung, Taiwan, Republic of China,
[6)]Institute of Plant and Microbial Biology, Academia Sinica, Taipei, Taiwan, Republic of China,
[7)]Department of Medicine, Washington University School of Medicine in St. Louis, St. Louis, Missouri, USA,
[8)]Department of Otolaryngology-Head and Neck Surgery, Tri-Service General Hospital, National Defense Medical Center, Taipei, Taiwan, Republic of China

### IA-3　The role of type I interferons on host defense against *Mycobacterium abscessus* pulmonary infection in mice model

◯Jae-Hun Ahn[1,2], Do-Hyeon Jung[1], Byeong-Cheol Kang[2,3], Jong-Hwan Park[1]

[1]Laboratory Animal Medicine, College of Veterinary Medicine, Chonnam National University, Republic of Korea,
[2]Department of Experimental Animal Research, Biomedical Research Institute, Seoul National University Hospital, Republic of Korea,
[3]Laboratory Animal Medicine, College of Medicine, Seoul National University, Republic of Korea

### IA-4　Preclinical evaluation of *Annona Muricata L.* leaves extract administration on the bioavailability of technetium-99m methylene diphosphonate ($^{99m}$Tc-MDP) as a bone scintigraphy agent

◯Ahmad Kurniawan[1,2], Sinar Kasih Mentari[3], Teguh Hafiz A.W[1]

[1]Center for Radioisotopes, Radiopharmaceuticals and Biodosimetry Technology, Research Organization of Nuclear Technology, National Research and Innovation Agency, Jakarta, Indonesia,
[2]Indonesian Association for Laboratory Animal Sciences (IALAS), Indonesia,
[3]School of Pharmacy, Bandung Institute of Technology, Indonesia

## 特別講演 1　5月 24日（水）　13:00 ～ 14:00　第 1会場（2F　メインホール）

座　長：八神　健一（筑波大学）

### PL-1　基礎科学の進歩が切り開く新しい移植医療

◯中内　啓光[1,2]

[1]スタンフォード大学医学部幹細胞生物学・再生医療研究所
[2]東京医科歯科大学高等研究院　卓越研究部門　幹細胞治療研究室

## 特別講演 2　5月 25日（木）　15:30 ～ 16:30　第 1会場（2F　メインホール）

座　長：杉山　文博（筑波大学）

### PL-2　遺伝子改変マウスによる新規神経ペプチド産生ニューロンの機能解明

◯櫻井　武

筑波大学医学医療系/国際統合睡眠医科学研究機構

## シンポジウム 1（大会企画）　5月 24日（水）　14:10 ～ 16:40　第 1会場（2F　メインホール）

## テーマ：実験動物を用いた医学実装へのアプローチ

座　長：金井　正美（東京医科歯科大学）
　　國田　　智（自治医科大学）

### S1-1　加齢黄斑変性の治療標的・治療薬探索そして臨床実装の挑戦

◯福田　慎一

筑波大学医学医療系眼科

### S1-2　胎生臓器補完法によるキメラ臓器移植

◯横尾　隆

東京慈恵会医科大学腎臓・高血圧内科

**S1-3　マイクロデバイス工学による生産率改善への挑戦**

○池内　真志

東京医科歯科大学生体材料工学研究所

**S1-4　手術ロボット（リバーフィールド）実装へ向けた試み**

只野　耕太郎[1,2]、西原　輝幸[2]、菅野　貴皓[2]、○川嶋　健嗣[3]

[1]リバーフィールド株式会社、[2]東京工業大学未来産業技術研究所、[3]東京大学大学院情報理工学系研究科

## シンポジウム 2（大会企画）　5月 25日（木）　9:00 ～ 11:30　第 1会場（2F　大ホール）

### テーマ：宇宙生物学における動物実験のこれまでとこれから

座　長：高橋　　智（筑波大学）
　　吉木　　淳（理化学研究所）

**S2-1　線虫の宇宙実験－微小重力とドーパミン－**

○東谷　篤志

東北大学大学院生命科学研究科

**S2-2　メダカを用いた宇宙と地上の骨生物学研究**

○茶谷　昌宏[1,2]

[1]昭和大学歯学部歯科薬理学講座、[2]昭和大学薬理科学研究センター

**S2-3　マウスを用いた骨格筋制御機構の解明**

○高橋　智

筑波大学医学医療系生命科学動物資源センター

**S2-4　宇宙生物学における動物実験のこれから**

○芝　大

宇宙航空研究開発機構（JAXA）有人宇宙技術部門きぼう利用センター

## シンポジウム 3（実験動物感染症対策委員会企画）
## 5月 25日（木）　9:00 ～ 11:30　第 2会場（2F　中ホール 200）

### テーマ：IVC システムを用いた実験用げっ歯類の飼育と管理

座　長：丸山　滋（ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン）
　　山田　梓（ラビックス）

**S3-1　施設における SPF 環境を維持するための最適な運用について　― IVC システムを中心に ―**

○小木曽　昇

国立長寿医療研究センター研究所

**S3-2　総合的な観点から考えた IVC ケージ導入の利点と課題**

○礒部　剛仁

中外製薬株式会社

**S3-3　個別換気ケージシステムにおける微生物モニタリング法の検証 －排気ダストPCR法と従来法の比較－**

○植野　昌未、山本　真史、林元　展人

（公財）実験動物中央研究所ICLASモニタリングセンター

**S3-4　マウスにおける *Corynebacterium mastitidis* 及び *Helicobacter mastomyrinus* 感染症**

○櫻木　求

大鵬薬品工業株式会社

**S3-5　IVCシステムにおける感染事例（ネズミ盲腸蟯虫・ネズミ大腸蟯虫）への対応・原因究明・対策**

○土佐　紀子

北海道大学医学研究院附属動物実験施設

## シンポジウム 4（日本実験動物医学会共催）

**5月25日（木）　9:00 ～ 11:30　　第4会場（3F　中ホール300）**

### テーマ：難治性疾患に立ち向かう核酸医薬の最前線

座　長：越後谷　裕介（日本大学）
大沼　健太（日本たばこ産業）

**S4-1　核酸医薬の安全性確保に向けた取り組み：毒性の予測と回避**

○井上　貴雄

国立医薬品食品衛生研究所

**S4-2　疾患モデル動物を基盤とした筋ジストロフィーのRNA治療開発**

○青木　吉嗣

国立精神・神経医療研究センター神経研究所遺伝子疾患治療研究部

**S4-3　血液脳関門通過型ヘテロ2本鎖核酸**

○横田　隆徳

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科脳神経病態学分野（脳神経内科）

## シンポジウム 5（学術集会委員会企画）

**5月26日（金）　9:00 ～ 12:00　　第1会場（2F　大ホール）**

### テーマ：感覚研究の最前線と実験動物学の新展開

座　長：吉川　欣亮（東京都医学総合研究所）
小出　剛（国立遺伝学研究所）

**S5-1　脳・脊髄が修飾する痒覚感受性とその伝達機構**

○高浪　景子

奈良女子大学研究院生活環境科学系生活健康学領域

**S5-2　消化管における飲水感知メカニズムの解明**

○市木　貴子[1)]、岡　勇輝[2)]

[1)]新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔生化学分野、[2)]カリフォルニア工科大学

**S5-3　オルガノイド培養による消化管の化学感覚研究**

○岩槻　健

東京農業大学

**S5-4　非視覚光受容体OPN5による脳機能制御**

○早野　元詞

慶應義塾大学医学部精神科学教室

**S5-5　音を受容する内耳感覚上皮帯の*in vivo*光イメージングおよびナノ振動動態の分析**

○太田　岳、日比野　浩

大阪大学大学院医学系研究科

## シンポジウム 6（日本製薬工業協会共催）

**5月 26日（金）　9:00 ～ 11:30　　第 2会場（2F　中ホール 200）**

### テーマ：実験動物試験における、アカデミア「研究公正」と医薬「信頼性基準」～相互理解から生まれる医薬品開発エコシステムへの挑戦～

座　長：渡部　一人（日本製薬工業協会）
鈴木　睦（日本製薬工業協会、協和キリン）

**S6-1　承認申請資料に係る信頼性確保について　～信頼性の基準が果たす役割と今後の課題～**

○林　恭平

（独）医薬品医療機器総合機構信頼性保証部

**S6-2　創薬における Data Integrity**

○米良　綾子

アステラス製薬（株）品質保証部リサーチ Quality Assurance

**S6-3　信頼される動物試験とARRIVE・PREPAREガイドライン**

○綾部　信哉

理化学研究所バイオリソース研究センター

**S6-4　医薬品開発研究における信頼性基準の運用課題：再試験問題を一例として**

○鳥塚　尚樹[1,2)]

[1)]ブリストル・マイヤーズスクイブ株式会社、[2)]米国研究製薬工業協会

**S6-5　アカデミアに試験を委託する施設向けの手引きについて**

○長岐　すみこ[1,2)]

[1)]一般社団法人日本QA研究会GLP部会第5分科会第2グループ、[2)]田辺三菱製薬株式会社

## シンポジウム 7（サル類の疾病と病理のための研究会共催）

**5月 26日（金）　9:00 ～ 11:30　　第 4会場（3F　中ホール 300）**

### テーマ：サル類を取り巻く感染症　～現状と対策～

座　長：板垣　伊織（予防衛生協会）
山海　直（医薬基盤・健康・栄養研究所）
中村　紳一朗（麻布大学）

**S7-1　サル類を取り巻く感染症 ― 現状と対策 ―（総論）**

○中村　紳一朗

麻布大学獣医学部

**S7-2　試験研究用霊長類の輸入現状と見通しについて**

○竹之下　誠

（株）イブバイオサイエンス

**S7-3　展示施設におけるサル類の感染症流行の傾向**

○宇根　有美

岡山理科大学獣医学部獣医学科

**S7-4　サル類の結核：ツベルクリン試験を主体とした検査系の再構築**

○板垣　伊織[1,2)]

[1)]一般社団法人予防衛生協会、[2)]滋賀医科大学動物生命科学研究センター

**S7-5　結核感染カニクイザルを用いたサル結核検査法の検討**

○岡村　智崇

医薬基盤・健康・栄養研究所霊長類医科学研究センター

## シンポジウム 8（日本実験動物学会企画）

**5月 26日（金）　13:10 ～ 16:00　　第 1会場（2F　大ホール）**

### テーマ：動物実験機関管理の実績と今後の発展に向けて

座　長：渡辺　秀徳（JTクリエイティブサービス）
　　國田　智（自治医科大学）

**S8-1　動物愛護管理法の沿革、機関管理体制及び今後の見通しについて**

○野村　環

環境省自然環境局総務課動物愛護管理室

**S8-2　大学等の研究機関における適正な動物実験の実施について**

○坂本　真梨子

文部科学省研究振興局ライフサイエンス課

**S8-3　動物福祉・倫理委員会のこれまでとこれから**

○佐加良　英治

兵庫医科大学病態モデル研究センター

**S8-4　実験動物管理者研修制度委員会の取り組みについて**

○森松　正美

北海道大学大学院獣医学研究院

**S8-5　人材育成委員会の役割と活動**

○三浦　竜一

東京大学ライフサイエンス研究倫理支援室

**S8-6　日本実験動物学会が実施する動物実験外部検証制度**

○越本　知大

宮崎大学

**S8-7　動愛法等対策委員会　― 機関管理のさらなる向上に向けて ―**

○塩谷　恭子

国立循環器病研究センター

## LAS セミナー 1　　5月 24日（水）　13:30 ～ 15:30　第 3会場（2F　中会議室 202・201）

### テーマ：3Rs に配慮した実験動物技術の最新知見と研究応用

座　長：新美　君枝（理化学研究所）
小木曽　昇（国立長寿医療研究センター研究所）

**LAS1-1　3Rs に配慮した実験動物への麻酔・安楽死について**

○高木　久宜

浜松医科大学医用動物資源支援部

**LAS1-2　サル類の周術期管理について**

○和田　聰

アステラス製薬株式会社

**LAS1-3　人工知能（AI）を用いた動物行動解析**

○小林　幸司

東京大学大学院農学生命科学研究科食と動物のシステム学研究室

**LAS1-4　自由行動下のコモンマーモセット家族を対象とした自動行動解析ケージシステムの開発**

○臿本　晃海

公益財団法人実験動物中央研究所

## LAS セミナー 2　　5月 25日（木）　9:00 ～ 11:30　第 3会場（2F　中会議室 202・201）

### テーマ：いまから始めるウイルスベクター

座　長：三浦　竜一（東京大学）
磯谷　綾子（奈良先端科学技術大学院大学）

**LAS2-1　動物実験にレンチウイルスベクターを使ってみよう**

○森岡　裕香

神戸大学大学院医学研究科附属動物実験施設）

**LAS2-2　初心者でも安心！ゼロから始めるアデノベクター～ゲノム編集治療に向けた挑戦**

○中西　友子[1)]、山地　恵[1)]、中村　眞理子[1)]、佐藤　栄人[1)]、斎藤　泉[2)]

[1)]順天堂大学疾患モデル研究センター、[2)]順天堂大学生理学）

**LAS2-3　何も知らないしベクターなんて作れないあなたがAAVで簡単にノックイン動物を作る方法**

○本多　新

自治医科大学先端医療技術開発センター

**LAS2-4　ステルス型RNAベクターの開発と応用**

○中西　真人

ときわバイオ株式会社

## LASセミナー 3　　5月26日（金）　9:00 ～ 11:30　　第3会場（2F　中会議室202・201）

### テーマ：知りたい！実験動物 part 2

座　長：清成　寛（理化学研究所）
井上　貴史（実験動物中央研究所）

**LAS3-1　細胞・個体の寿命を研究するためのモデル動物「一年魚」**

○黒川　大輔

東京大学大学院理学系研究科附属臨海実験所

**LAS3-2　ヤモリなのに壁登りが苦手な「ソメワケササクレヤモリ」**

○清成　寛

理化学研究所生命機能科学研究センター

**LAS3-3　ネズミではありません「スンクス」**

○目加田　和之

岡山理科大学理学部

**LAS3-4　全身に病気を併存する不思議な実験動物「コットンラット」**

○中村　鉄平

北海道大学大学院獣医学研究院実験動物学教室

# 口頭発表（優秀発表賞）

## 優秀発表賞　　5月24日（水）　9:00 ～ 11:30　　第1会場（2F　メインホール）

座　長：桑村　充（大阪公立大学）
磯谷　綾子（奈良先端科学技術大学院大学）

**BP-01　sPLA2修飾エクソソーム”SPREDs”は脂質経路を介して炎症を制御する**

○中山　駿矢[1)]、紙屋　光祐[1)]、中本　泰[1)]、幸谷　愛[1,2)]

[1)]東海大学医学部基盤診療学系先端医療科学、[2)]東海大学総合医学研究所

**BP-02　疑似着床培養コモンマーモセット胚の解析**

○岸本　恵子[1)]、ペンフォルド　クリストファー[2)]、上岡　美智子[1)]、フー　ファイユ[3)]、
ボロビアーク　ソーステン[2)]、佐々木　えりか[1)]

[1)]実中研、[2)]ケンブリッジ大学、[3)]アップステイト医科大学

### BP-03 β4-ガラクトース転移酵素-3欠損マウスは高免疫原性腫瘍の増殖を抑制する

○魏　恒[1)]、成瀬　智恵[1)]、杉原　一司[1)]、Xuchi Pan[1)]、池田　月[1)]、高倉　大輔[2)]、
川崎　ナナ[2)]、浅野　雅秀[1)]

[1)]京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設、[2)]横浜市立大学大学院生命医科学研究科

### BP-04 常染色体優性多発性嚢胞腎（ADPKD）モデルカニクイザルのヒト疾患モデルとしての有用性

○松本　翔馬[1)]、守村　敏史[1)]、森重　悦子[2)]、沼田　洋輔[2)]、依馬　正次[1)]

[1)]滋賀医科大学動物生命科学研究センター、[2)]株式会社新日本科学

### BP-05 経胎盤移植によって移植されたヒト膵前駆細胞は膵欠損マウスの生存に寄与する

○脇本　新[1,2)]、全　孝静[3)]、野田　篤志[2)]、廖　晉緯[1,2)]、林　洋平[4)]、濱田　理人[2)]、高橋　智[2)]

[1)]筑波大学グローバル教育院ヒューマンバイオロジー学位プログラム、
[2)]筑波大学医学医療系解剖学発生学研究室、[3)]筑波大学医学医療系幹細胞治療研究室、
[4)]理研バイオリソースセンター

### BP-06 人工知能を用いたマウスの痛み表情の評価

○小林　幸司[1)]、山本　雅人[2)]、村田　幸久[1,3)]

[1)]東京大学大学院農学生命科学研究科食と動物のシステム学研究室、
[2)]北海道大学大学院情報科学研究院自律系工学研究室、
[3)]東京大学大学院農学生命科学研究科放射線動物科学研究室

### BP-07 異種間卵巣移植を用いた新たなマーモセット卵子と産子作製法の開発

○平山　瑠那[1)]、竹鶴　裕亮[2)]、夏目　里恵[1)]、平澤　克哉[2)]、足立　周子[2)]、桑原　沙耶香[2)]、
齊藤　奈英[2)]、崎村　建司[1)]、阿部　学[1)]、笹岡　俊邦[2)]

[1)]新潟大学脳研究所モデル動物開発分野、[2)]新潟大学脳研究所動物資源開発研究分野

### BP-08 *In vivo*ゲノム編集による子宮内膜がんモデルマウスの迅速作製

○小林　良祐[1)]、川端　麗香[2)]、杉山　真言[3)]、小山　徹也[4)]、大塚　正人[5)]、堀居　拓郎[1)]、
森田　純代[1)]、西山　正彦[2)]、畑田　出穂[1)]

[1)]群馬大学生体調節研究所ゲノム科学リソース分野、[2)]群馬大学未来先端研究機構、
[3)]北里大学獣医学部、[4)]群馬大学医学系研究科、[5)]東海大学医学部

### BP-09 染色体工学技術を用いた複数HLA遺伝子領域を有するマウスの作製と解析

○岸間　菜々美[1)]、森脇　崇史[1)]、宇野　愛海[2)]、香月　加奈子[3)]、鈴木　輝彦[4)]、中川　和奏[1)]、
湯野　怜香[1)]、冨塚　一磨[2)]、香月　康宏[1,5)]

[1)]鳥取大学大学院医学系研究科染色体医工学講座、
[2)]東京薬科大学生命科学部応用生命科学科生物工学研究室、[3)]鳥取大学染色体工学研究センター、
[4)]東京都医学総合研究所幹細胞プロジェクト、
[5)]自然科学研究機構生命創成探究センター（ExCELLS）染色体工学研究グループ

### BP-10 IARS異常症モデルマウスの病態解析

○渡邉　正輝[1)]、宍戸　皓也[1)]、兼平　菜生[1)]、日裏　剛基[1)]、中野　堅太[2)]、岡村　匡史[2)]、
佐々木　隼人[1)]、佐々木　宣哉[1)]

[1)]北里大学獣医学部実験動物学研究室、[2)]国立国際医療研究センター研究所

**BP-11　大Maf群転写因子はtype IIb筋線維を制御する主要な因子である**

○定木　駿弥[1)]、藤田　諒[1)]、林　卓杜[1)]、中村　綾乃[1)]、岡村　結[1)]、布施谷　清香[1)]、
濱田　理人[1)]、蕨　栄治[1)]、久野　朗広[1)]、村谷　匡史[1)]、石井　亜紀子[1)]、岡田　理沙[2)]、
芝　大[2)]、工藤　崇[1)]、高橋　智[1)]

[1)]筑波大学、[2)]国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構（JAXA）有人宇宙技術部門 きぼう利用センター

**BP-12　ポドサイトにおける腎糸球体血液濾過への糖鎖修飾の意義**

○布施谷　清香[1)]、鈴木　陸[2)]、岡田　理沙[2)]、臼井　俊明[3)]、森戸　直記[3)]、萩原　梢[1)]、
佐藤　隆[1)]、高橋　智[2)]、工藤　崇[2)]

[1)]産業技術総合研究所細胞分子工学研究部門分子細胞マルチオミクス研究グループ、
[2)]筑波大学医学医療系生命医科学域解剖学・発生学研究室、
[3)]筑波大学医学医療系臨床医学域腎臓内科学

# 口頭発表（一般）

## 口頭発表Ⅰ　　5月24日（水）　9:00 ～ 11:00　　第2会場（2F　中ホール200）

### 「遺伝・育種・遺伝子機能 1」

座　長：成瀬　智恵（京都大学）

**O-01　TSKSは精子細胞内の細胞質内内容物の輸送を制御することで流線型の精子形成を可能にする**

○嶋田　圭祐[1)]、パク　スジン[1)]、大浦　聖矢[1)]、野田　大地[1)]、諸星　茜[1)]、
マツク　マーティン[2)]、伊川　正人[1)]

[1)]大阪大学微生物病研究所、[2)]ベイラー医科大学

**O-02　マウスFER1L5は先体反応と雄の妊孕性に重要である**

○宮田　治彦[1)]、諸星　茜[1,2)]、徳弘　圭造[1,3)]、飯田　理恵[1)]、野田　大地[1,4,5)]、藤原　祥高[1,6)]、
伊川　正人[1,2,7)]

[1)]大阪大学微生物病研究所、[2)]大阪大学大学院医学系研究科、[3)]関西医科大学附属生命医学研究所、
[4)]熊本大学生命資源研究・支援センター、[5)]熊本大学大学院先導機構、
[6)]国立循環器病研究センター分子生物学部、[7)]東京大学医科学研究所

**O-03　同時的ランダム変異導入法の開発による進化学的に重要なmiRNAクラスター遺伝子座の機能解明**

○森本　健斗[1,2)]、鈴木　颯[1,2)]、久野　朗広[3)]、大徳　陽子[4)]、谷本　陽子[4)]、加藤　花名子[4)]、
村田　知弥[4)]、杉山　文博[4)]、水野　聖哉[4)]

[1)]筑波大学大学院実験動物学研究室、[2)]日本学術振興会特別研究員DC、
[3)]筑波大学医学医療系解剖学発生学研究室、[4)]筑波大学医学医療系トランスボーダー医学研究センター

### 「遺伝・育種・遺伝子機能 2」

座　長：宮田　治彦（大阪大学）

**O-04　マウス顆粒膜細胞の除去による卵巣機能不全モデルマウスの作出**

○遠藤　墾[1,2)]、大山　夏実[1)]、渡邊　恭子[1)]、早川　佳那[1,2)]、頼　添賦[3)]、中野　有紀[1)]、
藤岡　慶史[1)]、末水　洋志[4)]、後藤　元人[4)]、高橋　利一[4)]、平手　良和[1,2)]、金井　克晃[3)]、
金井　正美[1,2)]

[1)]東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科、[2)]東京医科歯科大学実験動物センター、
[3)]東京大学大学院農学生命科学研究科、[4)]公益財団法人実験動物中央研究所

### O-05　QTL候補遺伝子解析においてファインマッピングは必須か：ニワトリの気質を例として

○石川　明、落合　貴之

名古屋大学大学院生命農学研究科

### O-06　C57BL/6系統マウスの亜系統検査

○山本　真史[1)]、内田　立樹[1,2)]、織田　俊樹[1,3)]、田中　舞[1)]、林元　展人[1)]

[1)]公益財団法人実験動物中央研究所ICLASモニタリングセンター、[2)]株式会社ジェー・エー・シー、
[3)]株式会社アドバンテック

## 「遺伝・育種・遺伝子機能 3」

座　長：嶋田　圭祐（大阪大学）

### O-07　マウスの新奇毛色突然変異に関わるQTL候補遺伝子の探索

○松山　あか莉[1)]、伊藤　祥輔[2)]、若松　一雅[2)]、石川　明[1)]

[1)]名古屋大学大学院生命農学研究科、[2)]藤田医科大学メラニン化学研究所

### O-08　樹状細胞のp21(Cdc42/Rac1)-activated kinase1欠損は皮膚腫瘍形成を抑制する

○奥村　和弘[1)]、徳永　夕莉香[1)]、磯貝　恵理子[1)]、荒木　喜美[2)]、若林　雄一[1)]

[1)]千葉県がんセンター研究所がんゲノムセンター実験動物研究部、
[2)]熊本大学・生命資源研究支援センター・疾患モデル分野

### O-09　サリドマイドアナログを使用したノックダウンのマウスにおける実用化

○成瀬　智恵[1)]、石橋　旺士郎[1)]、松崎　朋子[1)]、パン　シュチ[1)]、杉山　文博[2)]

[1)]京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設、[2)]筑波大学生命科学動物資源センター

## 「遺伝・育種・遺伝子機能 4」

座　長：奥村　和弘（千葉県がんセンター研究所）

### O-10　ゾウの発癌抑制機構解明に向けたゾウ化マウスの作製と解析

○山崎　匡太郎[1)]、香月　康宏[1,2,3)]

[1)]鳥取大学大学院医学系研究科医科学専攻染色体医工学講座、[2)]鳥取大学染色体工学研究センター、
[3)]自然科学研究機構生命創成探究センター染色体工学研究グループ

### O-11　カドヘリン23の遺伝子型はマウスの騒音外傷による難聴からの回復と関連する

○吉川　欣亮、侯　雪含、毛　霆、Ornjira Prakhongcheep、安田　俊平

東京都医学総合研究所

### O-12　Transcription factor 23 (TCF23) is an essential determinant of murine on-time parturition

○Minisy Fatma. M, Hossam Shawki. H, Hisashi Oishi

Department of Comparative and Experimental Medicine, Nagoya City University

# 口頭発表Ⅱ　5月24日（水）9:00 ～ 11:00　第3会場（2F　中会議室202・201）

## 「微生物・感染・免疫 1」

座　長：池　　郁生（理化学研究所）

### O-13　ブタにおけるE型肝炎ウイルス（HEV）ワクチンの有効性評価

○國田　智[1)]、高橋　雅春[2)]、岡本　宏明[2)]

[1)]自治医科大学実験医学センター、[2)]自治医科大学感染・免疫学講座ウイルス学部門

### O-14　急性A型肝炎が寛解した後も肝臓で長期間持続するウイルスRNA複製：マウスモデルを用いた解析

○結城　明香[1)]、塩田　智之[1)]、松田　麻未[1)]、Xin Zheng[1)]、永田　典代[1)]、石井　孝司[1)]、
鈴木　亮介[1)]、村松　正道[1)]、滝本　一広[1)]、Stanley M Lemon[2)]、David R McGivern[2)]、
花木　賢一[1)]

[1)]国立感染症研究所、[2)]ノースカロライナ大学

### O-15　ビフィズス菌を選択的に増殖させるガラクトシル-β-1,4-ラムノースを用いた偽膜性腸炎原因菌の生育抑制効果

○平野　里佳[1,2)]、阪中　幹祥[2)]、吉見　一人[3,4)]、山内　祐子[3,4)]、後藤　愛那[5)]、片山　高嶺[2,5)]、
飯田　宗穂[6)]、加藤　完[7)]、大野　博司[7)]、吹谷　智[8)]、横田　篤[8)]、西本　完[9)]、北岡　本光[9,10)]、
中井　博之[10)]、栗原　新[1,2)]

[1)]近畿大学生物理工学部、[2)]石川県立大学生物資源環境学部、[3)]東京大学医科学研究所、[4)]大阪大学医学部、
[5)]京都大学大学院生命科学研究科、[6)]金沢大学附属病院、[7)]理化学研究所生命医科学研究センター、
[8)]北海道大学大学院農学研究院、[9)]農業・食品産業技術総合研究機構食品研究部門、[10)]新潟大学農学部

## 「微生物・感染・免疫 2」

座　長：野田　義博（東京都健康長寿医療センター）

### O-16　Sendai virusと*Mycoplasma pulmonis*の口腔スワブ・糞便を用いたPCR法と抗体検査の比較

○田中　舞[1)]、山本　真史[1)]、内田　立樹[2)]、石田　智子[1)]、林元　展人[1)]

[1)]（公財）実験動物中央研究所ICLASモニタリングセンター、[2)]株式会社ジェー・エー・シー

### O-17　コンジェニックマウスを用いた多包条虫の原頭節形成における宿主側遺伝子の探索

○佐藤　佳祐[1)]、彦坂　周栄[1)]、孝口　裕一[2)]、入江　隆夫[2,3)]、森松　正美[1)]、安居院　高志[1)]

[1)]北大院・獣・実験動物、[2)]北海道立衛生研究所、[3)]宮崎大・農・獣

### O-18　*Helicobacter mastomyrinus*分離株感染BALB/cマウスの肝臓における菌検出と病態

○山中　仁木[1)]、宮内　綾乃[2)]、吉沢　隆浩[1)]、嶋田　新[1)]、大沢　一貴[3)]、増山　律子[2)]

[1)]信州大・基盤研究支援セ、[2)]立命館大院・食マネジメント、[3)]長崎大院・医歯薬学総合

## 「微生物・感染・免疫 3」

座　長：山中　仁木（信州大学）

### O-19　盲腸内容物の網羅的遺伝子検査で検出した低病原性ヘリコバクター属菌について

○池　郁生[1)]、梶田　亜矢子[1)]、豊田　敦[2)]、山中　仁木[3)]

[1)]理研BRC、[2)]国立遺伝学研究所、[3)]信州大学基盤研究支援センター

### O-20　破傷風トキソイド力価試験における代替法の開発

○岩城　正昭[1,2)]、見理　剛[1)]、妹尾　充敏[1)]

[1)]国立感染症研究所細菌第二部、[2)]国立感染症研究所安全実験管理部

### O-21　大学等の動物実験施設におけるマカクのＢウイルス感染の実態調査

○吉松　組子[1)]、池　郁生[2)]、小久保　年章[3)]、瀬戸山　健太郎[4)]、成田　浩司[5)]、村田　智昭[6)]、
矢野　愛美[7)]

[1)]北海道大学遺伝子病制御研究所附属動物実験施設、[2)]理化学研究所バイオリソース研究センター、
[3)]量子科学技術研究開発機構生物研究推進室、[4)]鹿児島大学先端科学研究推進センター、
[5)]弘前大学大学院医学研究科附属動物実験施設、[6)]山口大学総合科学実験センター生命科学実験施設、
[7)]秋田大学バイオサイエンス教育・研究サポートセンター

## 「管理・施設・倫理・福祉」

座　長：吉松　組子（北海道大学）

### O-22　福岡大学における動物実験計画書審査の電子化について

○田中　聖一、上原　吉就、倉岡　功、古賀　允久、坂田　直昭、白石　武史、
高田　芙友子、立花　克郎、田中　綾子、津川　潤、林　誓雄、廣松　賢治、
藤田　孝之、安永　晋一郎、岩崎　克典

福岡大学

### O-23　東京都健康長寿医療センターにおけるTech weekの取組み
### ― 実験動物技術者へ感謝の気持ちを伝える ―

○野田　義博、根本　妙子、重本　和宏

東京都健康長寿医療センター

### O-24　トンネルハンドリング法は、マウスが慣れたハンドリングチューブを用いることが重要である

○宮城　太輔[1)]、小川　麻子[1)]、中野　洋子[2)]、礒部　剛仁[3)]、渡邊　利彦[3)]、野牧　博通[3)]

[1)]株式会社ケー・エー・シー、[2)]帝京科学大学、[3)]中外製薬株式会社

## 口頭発表Ⅲ　　5月24日（水）　9:00 ～ 11:00　　第4会場（3F　中ホール300）

## 「発生工学（再生医療を含む）1」

座　長：岡村　永一（滋賀医科大学）

### O-25　マウス精子幹細胞株の不均一性の実態とその制御

○鈴木　伸之介[1,2,3,4,5)]、吉田　松生[1,2)]、ハーマン　ブライアン[3)]、阿部　訓也[4)]

[1)]基礎生物学研究所、[2)]総合研究大学院大学、[3)]テキサス大学サンアントニオ校、
[4)]理化学研究所バイオリソース研究センター、[5)]日本学術振興会

### O-26　複数アリルの同時改変が可能なCRISPR/Cas9リボ核蛋白質を用いたES細胞への効率的ノックイン法

○田口　純平[1)]、山田　泰広[1,2)]、伊川　正人[1,3)]、小沢　学[1)]

[1)]東京大学医科学研究所、[2)]東京大学大学院 医学系研究科、[3)]大阪大学微生物病研究所

### O-27　国産ゲノム編集技術CRISPR-Cas3によるゲノム編集動物の作製

○吉見　一人[1)]、山内　祐子[1)]、谷口　ひろみ[1)]、服部　晃佑[1)]、久野　朗広[2)]、真下　知士[1)]

[1)]東京大学医科学研究所、[2)]筑波大学医学医療系

## 「発生工学（再生医療を含む）2」

座　長：吉見　一人（東京大学）

### O-28　Founder世代での表現型解析を可能とする効率的なトランスジェニック動物作製法の開発

○岡村　永一[1)]、水野　聖哉[2)]、松本　翔馬[1)]、水谷　英二[2)]、増山　七海[3,4,5)]、木島　佑輔[3,12)]、
谷本　陽子[6)]、加藤　花名子[6)]、鈴木　颯[7,8)]、ウォルツェン　クヌート[9)]、高橋　智[2)]、
杉山　文博[2)]、谷内江　望[3,10,11)]、依馬　正次[1)]

[1)]滋賀医科大学動物生命科学研究センター、[2)]筑波大学医学医療系、
[3)]ブリティッシュコロンビア大学生体医工学部、[4)]慶應義塾大学先端生命科学研究所、
[5)]慶應義塾大学政策・メディア研究科、[6)]筑波大学生命科学動物資源センター、
[7)]筑波大学生命システム医学専攻、[8)]日本学術振興会特別研究員、[9)]京都大学iPS細胞研究所、
[10)]東京大学先端科学技術研究センター、[11)]大阪大学ヒューマン・メタバース疾患研究拠点、
[12)]東京大学大学院農学生命科学研究科

### O-29　ゲノム安定性制御による複雑な染色体再編成（Complex Chromosome Rearrangements: CCRs）の効率的誘導

○岩田　悟[1,2,3,4,5)]、長原　美樹[1)]、岩本　隆司[1,2)]

[1)]中部大学実験動物教育研究センター、[2)]中部大学生命健康科学部生命医科学科、
[3)]中部大学応用生物学部、[4)]中部大学AI数理データサイエンスセンター、
[5)]独立行政法人日本学術振興会卓越研究員候補者

### O-30　最小容量ガラス化法と急速融解によるラット胚ガラス化保存法の高度化

○関　信輔[1)]、川辺　敏晃[2)]、及川　剛宗[1)]、山崎　渉[1)]、小畑　孝弘[1)]、東谷　美沙子[1)]、
矢野　愛美[1)]、江藤　智生[3)]

[1)]秋田大学バイオサイエンス教育・研究サポートセンター、[2)]アーク・リソース株式会社、
[3)]実験動物中央研究所生殖工学研究室

## 「発生工学（再生医療を含む）3」

座　長：吉見　理子（理化学研究所）

### O-31　免疫不全ラットの凍結融解精子を用いた体外受精および産子の作製

○三小田　伸之[1,2)]、山鹿　優真[3)]、中尾　聡宏[3)]、竹尾　透[3)]、中潟　直己[1)]

[1)]熊本大学生命資源研究支援センター（CARD）生殖工学共同研究分野、[2)]九動株式会社、
[3)]熊本大学生命資源研究支援センター（CARD）資源開発分野

### O-32　マウス凍結二細胞期胚の冷蔵保存及び冷蔵保存後の再凍結が生存率および発生率に及ぼす影響

○弟子丸　優果[1,2)]、中村　智[1,2)]、山下　紀代子[1,2)]、坂口　摩姫[1,2)]、打越　喜春[1,2)]、
卯野　耕大[1,2)]、丸岡　恵利奈[1,2)]、古上　圭輔[1,2)]、三小田　伸之[2,3)]、岩本　まり[1)]、高橋　郁[1)]、
坂口　香織[1)]、坂本　亘[1)]、土山　修治[1)]、中尾　聡宏[1)]、中川　佳子[1)]、中潟　直己[3)]、
竹尾　透[1)]

[1)]熊本大学生命資源研究・支援センター（CARD）資源開発分野、[2)]九動株式会社、
[3)]熊本大学生命資源研究・支援センター（CARD）生殖工学共同研究分野

### O-33　エピゲノム編集によるベックウィズ・ヴィーデマン症候群モデルマウスの作出

○堀居　拓郎、森田　純代、木村　美香、畑田　出穂

群馬大学生体調節研究所

## 「発生工学（再生医療を含む）4」

座　長：堀居　拓郎（群馬大学）

### O-34　ヒストンメチル化酵素G9aの阻害剤による体細胞クローン法の改善

○的場　章悟[1,2]、四方　大樹[1,3]、黒滝　陽子[4]、白井　文幸[5]、山田　祐子[4]、
渡邉　奈緒美[1,3]、伊藤　昭博[6]、眞貝　洋一[7]、佐々木　えりか[4]、吉田　稔[5]、小倉　淳郎[1,7]

[1]理研BRC、[2]農工大、[3]筑波大、[4]実中研、[5]理研CSRS、[6]東京薬科大、[7]理研CPR

### O-35　Morphological changes of uterus related to the maternal age in the early stage of pregnancy

○Youssef Asmaa, Moustafa Ahmed, Minisy Fatma.M, Shawki Hossam. H, Hisashi Oishi

Department of Comparative and Experimental Medicien, Nagoya City University

### O-36　ハイイロジネズミオポッサム（*Monodelphis domestica*）における生殖工学技術の改良に向けた取り組み

○吉見　理子、金子　麻里、白石　亜紀、清成　寛

国立研究開発法人理化学研究所生命機能科学研究センター生体モデル開発チーム

## 口頭発表Ⅳ　5月24日（水）14:00 ～ 16:30　第2会場（2F　中ホール200）

## 「その他の分類」

座　長：濱田　理人（筑波大学）

### O-37　獣医学解剖実習用に供与する犬の使用者アンケート結果

○安倍　宏明、石川　玄

マーシャル・バイオリソーシス・ジャパン株式会社

### O-38　動物実験管理システムのオープンソース開発

○岡村　峻平[1]、進導　美幸[2]、青砥　早希[3]、黒木　陽子[1,4]、岡村　浩司[5]

[1]国立成育医療研究センター共同研究管理室、[2]実験動物管理室、[3]メディカルゲノムセンター、
[4]ゲノム医療研究部成育疾患ゲノム研究室、[5]システム発生・再生医学研究部

### O-39　深層学習に基づいた動物姿勢解析ソフトウェアのマウス行動解析への実装

○古瀬　民生、串田　知子、西村　静佳、山田　郁子、田村　勝

理化学研究所バイオリソース研究センター

## 「脳・神経・行動」

座　長：古瀬　民生（理化学研究所）

### O-40　深層学習を応用した体のグルーミング行動検出の自動化

○港　高志[1]、岸　拓也[1]、江上　由美[1]、小林　幸司[1,2]、村田　幸久[1,2,3]

[1]東京大学大学院農学生命科学研究科食と動物のシステム学研究室、
[2]東京大学大学院農学生命科学研究科放射線動物科学研究室、
[3]東京大学大学院農学生命科学研究科獣医薬理学研究室

### O-41　深層学習を用いて、多頭マウスの行動を自動追跡する技術の開発

○坂本　直観[1)]、掛野　仁志[1)]、尾崎　乃理子[1)]、宮崎　優介[1)]、小林　幸司[2)]、村田　幸久[1,2,3)]

[1)]東京大学大学院農学生命科学研究科放射線動物科学研究室、
[2)]東京大学大学院農学生命科学研究科食と動物のシステム学研究室、
[3)]東京大学大学院農学生命科学研究科獣医薬理学研究室

### O-42　画像解析を用いた食物アレルギーモデルマウスの症状評価

○宮崎　優介[1)]、小林　幸司[1,2)]、村田　幸久[1,2,3)]

[1)]東京大学大学院農学生命科学研究科　放射線動物科学研究室、
[2)]東京大学大学院農学生命科学研究科 食と動物のシステム学研究室、
[3)]東京大学大学院農学生命科学研究科 獣医薬理学研究室

### O-43　マウスの家畜化に伴う腸内微生物叢の変化

○ビシュワ　ビーム　バハドゥ[1,2)]、森　宙史[2,3)]、豊田　敦[4)]、黒川　顕[2,5)]、小出　剛[1,2)]

[1)]国立遺伝学研究所マウス開発研究室、[2)]総合研究大学院大学遺伝学専攻 、
[3)]国立遺伝学研究所ゲノム多様性研究室、
[4)]国立遺伝学研究所比較ゲノム解析研究室、
[5)]国立遺伝学研究所ゲノム進化研究室

## 「疾患モデル 1」

座　長：石田　純治（筑波大学）

### O-44　2つの行動解析法を用いた神経セロイド・リポフスチン症2型カニクイザルの病態評価

○棟居　佳子[1)]、小野　文子[2)]、揚山　直英[3)]、八神　健一[4)]、石井　一弘[1)]、玉岡　晃[1)]、
保富　康宏[3)]、下澤　律浩[3)]

[1)]筑波大学大学院人間総合科学研究科疾患制御医学専攻神経内科学研究室、
[2)]岡山理科大学獣医学部獣医保健看護学科、
[3)]国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所霊長類医科学研究センター、
[4)]筑波大学生命科学動物資源センター

### O-45　知的障害MRD43モデルマウスにおける社会的ストレスの影響

○高木　豪、浅井　真人

愛知県医療療育総合センター発達障害研究所

### O-46　筋拘縮型エーラス・ダンロス症候群（mcEDS）の疾患モデルマウスを用いた包括的骨病態解析

○高橋　有希[1)]、吉沢　隆浩[2)]、水本　秀二[3)]、小野　史子[1)]、嶋田　新[2)]、上原　将志[4)]、
渡邉　敬文[5)]、山田　修平[3)]、高橋　淳[4)]、古庄　知己[1,6)]

[1)]信州大学医学部遺伝医学教室、[2)]信州大学基盤研究支援センター動物実験支援部門、
[3)]名城大学薬学部病態生化学研究室、[4)]信州大学医学部附属病院整形外科、
[5)]酪農学園大学獣医学群獣医学類獣医解剖学ユニット、[6)]信州大学医学部附属病院遺伝子医療研究センター

### O-47　難聴モデル動物と難聴患者iPS細胞による内耳へのバイオ医薬品開発

○神谷　和作、池田　勝久

順天堂大学医学部耳鼻咽喉科学講座

## 「疾患モデル 2」

座　長：神谷　和作（順天堂大学）

### O-48　Dahl食塩感受性高血圧ラットの頚動脈小体におけるカテコールアミン合成酵素の低発現

○加藤　弘毅、冨宿　誠吾

防衛医科大学校医学教育部動物実験施設

### O-49　心腎障害モデルマウスの早期病態における組織障害の解析

○室町　直人[1)]、石田　純治[2)]、野口　和之[2)]、深水　昭吉[2)]

[1)]筑波大学生命農学学位プログラム、[2)]筑波大学生存ダイナミクス研究（TARA）センター

### O-50　ヒト型アルギニンメチル化酵素PRMT1遺伝子改変マウスの作出とその解析

○姚　遠[1)]、加香　孝一郎[2)]、本村　香織[3)]、金　俊達[4)]、深水　昭吉[3)]

[1)]筑波大学ヒューマンバイオロジー学位プログラム、[2)]筑波大学生命環境系、
[3)]筑波大学生存ダイナミクス研究センター、[4)]富山大学和漢医薬学総合研究所

### O-51　新規遺伝子組換えマウスを用いた、敗血症におけるNotch1シグナルの腎内動態解析

○杉浦　涼介[1)]、吉原　雅大[2)]、高橋　智[3,4)]

[1)]筑波大学医学群医学類、[2)]筑波大学医学医療系地域医療教育学、[3)]筑波大学医学医療系解剖学発生学、
[4)]筑波大学トランスボーダー医学研究センター

## 口頭発表Ⅴ　　5月24日（水）　14:00 ～ 16:30　　第4会場（3F　中ホール300）

## 「バイオリソース 1」

座　長：高田　豊行（理化学研究所）

### O-52　マウスリソース利活用に向けた理研BRCホームページ系統紹介コンテンツ充実への取り組み

○水野　沙織[1)]、中山　百合子[1)]、中田　初美[1)]、綾部　信哉[1)]、仲柴　俊昭[1)]、栗原　恵子[2)]、
桝屋　啓志[2)]、吉木　淳[1)]

[1)]理研BRC実験動物開発室、[2)]理研BRC統合情報開発室

### O-53　造血系ヒト化マウスの新たな基盤レシピエントの開発

○伊藤　亮治、何　裕遥、大野　裕介、後藤　元人、高橋　利一、伊藤　守

公益財団法人実験動物中央研究所

### O-54　BRCバイオリソース検索システムにおける疾患検索機能の強化

○櫛田　達矢、臼田　大輝、高田　豊行、桝屋　啓志

理化学研究所バイオリソース研究センター

## 「バイオリソース 2」

座　長：高橋　祐次（国立医薬品食品衛生研究所）

### O-55　マウスゲノム多型に基づいた遺伝子機能解析を支援するMoG+のアップデート

○高田　豊行[1)]、臼田　大輝[1)]、櫛田　達矢[1)]、城石　俊彦[2)]、桝屋　啓志[1)]

[1)]理研BRC統合情報開発室、[2)]理研BRCセンター長室

### O-56　福島事業で樹立した患者由来腫瘍組織（F-PDX）のオンラインデータベース

○土橋　悠[1)]、河村　義史[2)]、小澤　和典[1,3)]、片平　清昭[1)]、渡辺　慎哉[1)]

[1)]福島県立医科大学医療-産業TRセンター、[2)]福島医大トランスレーショナルリサーチ機構、
[3)]福島県立医科大学医学部附属実験動物研究施設

### O-57　*Ghr*欠損ラットの表現型解析

○守田　昂太郎[1)]、吉原　亨[1)]、笹岡　佳生[1)]、森田　健斗[1)]、本多　新[2)]、浅野　雅秀[1)]

[1)]京大院・医・動物、[2)]自治医大・医

### O-58　BSA濃度の最適化によるラット冷蔵精子の受精率向上

○山鹿　優真[1)]、中尾　聡宏[1)]、三小田　伸之[2,3)]、中潟　直己[2)]、竹尾　透[1)]

[1)]熊本大学生命資源研究・支援センター（CARD）資源開発分野、
[2)]熊本大学生命資源研究・支援センター（CARD）生殖工学共同研究分野、[3)]九動株式会社

## 「実験手技・代替・麻酔・鎮痛」

座　長：守田　昂太郎（京都大学）

### O-59　ラットにおける新鮮および凍結精子の体外受精成績

○中潟　直己[1)]、三小田　伸之[1,2)]、山鹿　優真[3)]、中尾　聡宏[3)]、竹尾　透[3)]

[1)]熊本大学生命資源研究・支援センター（CARD）生殖工学共同研究分野、[2)]九動株式会社、
[3)]熊本大学生命資源研究・支援センター（CARD）資源開発分野

### O-60　ラット凍結精子を用いた体外受精に関する技術習得

○打越　喜春[1,2)]、中村　智[1,2)]、山下　紀代子[1,2)]、坂口　摩姫[1,2)]、弟子丸　優果[1,2)]、
卯野　耕大[1,2)]、古上　圭輔[1,2)]、丸岡　恵利奈[1,2)]、三小田　伸之[2,3)]、岩本　まり[1)]、高橋　郁[1)]、
坂口　香織[1)]、坂本　亘[1)]、土山　修治[1)]、中尾　聡宏[1)]、中川　佳子[1)]、中潟　直己[1)]、
竹尾　透[1)]

[1)]熊本大学生命資源研究・支援センター（CARD）資源開発分野、[2)]九動株式会社、
[3)]熊本大学生命資源研究・支援センター（CARD）生殖工学共同研究分野

### O-61　ラット新鮮精子を用いた体外受精に関する技術習得

○卯野　耕大[1,2)]、中村　智[1,2)]、山下　紀代子[1,2)]、坂口　摩姫[1,2)]、弟子丸　優果[1,2)]、
打越　喜春[1,2)]、丸岡　恵利奈[1,2)]、古上　圭輔[1,2)]、岩本　まり[1)]、高橋　郁[1)]、坂口　香織[1)]、
坂本　亘[1)]、土山　修治[1)]、中尾　聡宏[1)]、中川　佳子[1)]、三小田　伸之[2,3)]、中潟　直己[3)]、
竹尾　透[1)]

[1)]熊本大学生命資源研究・支援センター（CARD）資源開発分野、[2)]九動株式会社、
[3)]熊本大学生命資源研究・支援センター（CARD）生殖工学共同研究分野

### O-62　マウス胚移植における麻酔から拮抗剤投与までの時間が産子への発生率に及ぼす影響

○坂口　摩姫[1,2)]、中村　智[1,2)]、山下　紀代子[1,2)]、弟子丸　優果[1,2)]、打越　喜春[1,2)]、
卯野　耕大[1,2)]、三小田　伸之[2,3)]、岩本　まり[1)]、高橋　郁[1)]、坂口　香織[1)]、丸岡　恵利奈[1,2)]、
古上　圭輔[1,2)]、中尾　聡宏[1)]、中川　佳子[1)]、坂本　亘[1)]、土山　修治[1)]、中潟　直己[3)]、
竹尾　透[1)]

[1)]熊本大学生命資源研究・支援センター（CARD）資源開発分野、[2)]九動株式会社、
[3)]熊本大学生命資源研究・支援センター（CARD）生殖工学共同研究分野

## 「栄養・生理・生化学」

座　長：水野　沙織（理化学研究所）

### O-63　超過剰排卵誘起雌マウスにおける排卵と交配タイミングの同期化による受精効率の向上

○中尾　聡宏[1)]、伊藤　琴乃[1)]、若杉　理乃[1)]、中潟　直己[2)]、竹尾　透[1)]

[1)]熊本大学生命資源研究・支援センター（CARD）資源開発分野、
[2)]熊本大学生命資源研究・支援センター（CARD）生殖工学共同研究分野

### O-64　高齢スンクスの実験的脂肪肝：血中遊離アミノ酸を含む生化学検査と病理組織学的変化の関連性

○木村　透[1)]、前家　康平[1)]、小木曽　昇[2)]

[1)]山口大学共同獣医学部実験動物学、[2)]国立長寿医療研究センター研究所

### O-65　非古典的翻訳開始因子の遺伝子変異マウスは周産期において循環器系機能に異常を示す

○浅井　健宏[1)]、南　篤[2)]、水流　功春[3)]、島野　翔太朗[4)]、関口　茉莉恵[4)]、橘　毅[4)]、
栃内　亮太[1,4)]、富安　博隆[4)]、チェンバーズ　ジェームズ[4)]、内田　和幸[4)]、藤井　渉[1,4)]、
葛山　智久[2,5)]、久和　茂[1,4,6)]、小川　哲弘[2,5)]、角田　茂[1,4,5)]

[1)]東大院・農・応用動物、[2)]東大院・農・応生工、[3)]プライムテック、[4)]東大院・農・獣医、
[5)]東大・CRIIM、[6)]東大院・農・食の安全

### O-66　先端素材カーボンナノチューブヤーンを使用した実験用小動物における低侵襲な生体電位測定法の開発

○高橋　祐次[1)]、森田　紘一[1)]、辻　昌貴[1)]、菅　康佑[1)]、相崎　健一[1)]、北嶋　聡[1)]、平林　容子[2)]

[1)]国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター毒性部、
[2)]国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センターセンター長室

## ポスター発表

5月24日（水）～ 5月26日（金）ポスター・展示会場（1F多目的ホール・大会議室101・102）
示説・討論
5月24日（水）17：00 ～ 18：00　P-001 ～ 108の奇数番号
5月25日（木）16：30 ～ 17：30　P-001 ～ 108の偶数番号、BP-01 ～ 12
＊全ての優秀発表賞演題は5月25日（木）の示説・討論時間においてもポスター発表が必要です。

## ランチョンセミナー1（協賛企業：株式会社星野試験動物飼育所）

5月24日（水）11：45 ～ 12：45　第2会場（2F 中ホール200）
座長：星野貴一（株式会社星野試験動物飼育所）
演者：「早期発症し持続的高血糖を示す新たな2型糖尿病モデルマウス NSY.B6-*Tyr*$^{+}$,*A*$^{y}$ 系統」
大野民生（名古屋大学大学院医学系研究科 附属医学教育研究支援センター 実験動物部門）

## ランチョンセミナー2（協賛企業：株式会社ケー・エー・シー）

5月24日（水）11：45 ～ 12：45　第3会場（中会議室202・201）
座長：谷口佳史（株式会社ケー・エー・シー）
演者：「実験動物技術教育における3RsとSDGs」
谷口佳史、天野真理子（以上、株式会社ケー・エー・シー　技術ソリューション部）、
村上誠（株式会社ハンドレッド）

## ランチョンセミナー3（協賛企業：ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社）

5月24日（水）11：45 ～ 12：45　第4会場（3F 中ホール300）
座長：丸山　滋（ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社）
演者：「微生物モニタリングの昔と今とこれから」
鈴木裕貴（ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社　モニタリングセンター）

## ランチョンセミナー4（協賛企業：ハムリー株式会社）

5月25日（木）12：00 ～ 13：00　第2会場（2F 中ホール200）
座長：伊藤由広（ハムリー株式会社）
演者：「過酸化水素ガスによる空間殺菌と最近の事例 ～微生物制御の観点から～」
桑原浩輔（十全バイオシステムズ）

## ランチョンセミナー5（協賛企業：ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社）

5月25日（木）12：00 ～ 13：00　第3会場（2F 中会議室202・201）
座長：佐藤 正直（ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社）
演者：「ヒト化NSG™マウスを用いたIn Vivoでのがん免疫療法の評価」
セバスティアン　ロドリゲス（ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社　Technical Information Service Department）

## ランチョンセミナー6（協賛企業：九動株式会社）

5月25日（木）12：00 ～ 13：00　第4会場（3F 中ホール300）

座長：竹尾　透（熊本大学）

演者：「ラット体外受精の全て」

竹尾　透、中尾聡宏、山鹿優真（以上、熊本大学生命資源研究支援センター（CARD）資源開発分野）、中潟直己、三小田伸之（以上、熊本大学生命資源研究･支援センター（CARD）生殖工学共同研究分野）

## ランチョンセミナー7（協賛企業：三浦工業株式会社）

5月26日（金）12：00 ～ 13：00　第2会場（2F 中ホール200）

座長：黒澤　努（鹿児島大学・国立医薬品食品衛生研究所）

演者：「①動物実験施設におけるバッチ式洗浄器の活用　②オゾン過酸化水素混合ガス滅菌器のアプリケーション事例」

太田亘俊（三浦工業株式会社メディカル関東支店）

## ランチョンセミナー8（協賛企業：【第一部】日本クレア株式会社、【第二部】公益財団法人実験動物中央研究所）

5月26日（金）12：00 ～ 13：00　第4会場（3F 中ホール300）

座長：佐々木えりか（実験動物中央研究所）

【第一部】

演者：「コモンマーモセットにおける絨毛性ゴナドトロピン（CG）の定量及び定性分析系の開発
―早期妊娠診断のための簡便で実用的なイムノクロマト検査を主として―」

曽我拓馬（日本クレア株式会社）

【第二部】

演者：「尿中コモンマーモセット絨毛性ゴナドトロピン検査キットによる性周期管理と人工授精」

岸本恵子（実験動物中央研究所）

## 器材展示

5月24日（水）～ 5月26日（金）ポスター・展示会場（1F多目的ホール、大会議室101・102）

## ホスピタリティルーム

5月24日（水）～ 5月26日（金）

【HR-1】　公益財団法人実験動物中央研究所（3F 小会議室301）

【HR-2】　株式会社夏目製作所（4F 小会議室401）

【HR-3】　日本クレア株式会社（4F 小会議室402）

【HR-4】　ハムリー株式会社（4F 小会議室403）

【HR-5】　九動株式会社（4F 小会議室404）

【HR-6】　筑波実験動物研究会（4F 小会議室407）

## 託児室

5月24日（水）～ 5月26日（金）

## 理事・評議員懇談会

5月23日（火）15：00 ～ 17：00　第3会場（2F 中会議室202）

## 情報交換会

5月25日（木）18：30 ～ 20：30（ホテル日航つくば・別館1階）

## ポスター発表　　5月24日（水） 9:00 ～ 26日（金） 12:00
ポスター・展示会場 1・2（1F　多目的ホール、会議室 101・102）

## 示説・討論　5月24日（水）17:00～18:00　演題番号が奇数の場合
## 5月25日（木）16:30～17:30　演題番号が偶数の場合

### 「繁殖・系統開発」

**P-001　Chst14 KOマウスの出生率に対する環境エンリッチメントの効果**

○嶋田　新[1)]、吉沢　隆浩[1)]、岩渕　忍[2)]、江崎　真司[2)]、山中　仁木[1)]、古庄　知己[3)]

[1)]信州大学基盤研究支援センター動物実験支援部門、[2)]株式会社エーテック、
[3)]信州大学医学部遺伝医学教室

**P-002　室内で繁殖、育成されたカニクイザルの性成熟と閉経時期に関する解析**

○小原　実穂、山海　直

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所霊長類医科学研究センター

**P-003　抗インヒビンモノクロ抗体投与によるラットの産子数の増加**

○持田　慶司[1)]、守田　昂太郎[2)]、森田　健斗[2)]、笹岡　佳生[2)]、長谷川　歩未[1)]、遠藤　整[3)]、
浅野　雅秀[2)]、小倉　淳郎[1,4)]

[1)]理研BRC、[2)]京都大学、[3)]東海大学、[4)]筑波大学

**P-004　重度免疫不全NOGマウスにおけるCARD HyperOvaを用いた反復採卵による系統保存システムの開発**

○竹澤　久美子[1)]、後藤　元人[2)]、笹岡　俊邦[3)]、高橋　利一[2)]

[1)]株式会社ジェー・エー・シー、[2)]実験動物中央研究所、[3)]新潟大学

### 「発生工学（再生医療を含む）」

**P-005　体外培養環境はラット着床前胚のミトコンドリア経路アポトーシスを誘導する**

○中村　和臣[1)]、妹尾　美砂子[2)]、吉村　祐貴[3)]、鈴木　治[4)]

[1)]鳥取大学医学部附属病院新規医療研究推進センター、[2)]鳥取大学研究推進機構先進医療研究センター、
[3)]鳥取大学医学部統合生理学分野、[4)]医薬基盤・健康・栄養研究所疾患モデル小動物研究室

**P-006　ラット卵巣内GV期卵の体外成熟および受精後の発生について**

○竹鶴　裕亮[1)]、平山　瑠那[2)]、夏目　里恵[2)]、阿部　学[2)]、崎村　建司[2)]、笹岡　俊邦[1)]、
金子　武人[3,4)]

[1)]新潟大学脳研究所動物資源開発分野、[2)]新潟大学脳研究所モデル動物開発分野、
[3)]岩手大学大学院理工学研究科、[4)]岩手大学理工学部化学・生命理工学科

**P-007　LH-RH投与による小スケールでの計画的なラット交配繁殖および偽妊娠ラットの作製方法**

○石束　祐太[1)]、上迫　努[1)]、齋藤　翼[2)]、佐藤　渚[1,3)]、熊井　実[1)]、石崎　宏好[1)]

[1)]株式会社カン研究所、[2)]株式会社サンプラネット、[3)]株式会社ワールドインテックRD

**P-008　MG132を用いたラット卵子の自発的活性化抑制が顕微授精後の胚発生に及ぼす影響**

○中川　優貴[1)]、金子　武人[1,2)]

[1)]岩手大学理工学部化学生命理工学科、[2)]岩手大学大学院理工学研究科自然応用科学専攻

### P-009　CRISPR/Cas9システムによる効率的なノックインラットの作製

○井上　健一、阿部　高也、清成　寛

理化学研究所生命機能科学研究センター生体モデル開発チーム

### P-010　マウス体外成熟卵子を用いた体外成熟培地へのケルセチンの添加が発生に与える影響

○田中　万柚子[1)]、大原　なずな[1)]、由良　晶子[1)]、野田　義博[2)]、安齋　政幸[1,3)]

[1)]近畿大学大学院生物理工学研究科、[2)]（地独）東京都健康長寿医療センター研究所、
[3)]近畿大学先端技術総合研究所

### P-011　A系統マウスの体外受精後の体内発育胚を利用した産仔率の改善

○長谷川　歩未、持田　慶司、小倉　淳郎

理研バイオリソース研究センター

### P-012　生殖細胞の可視化および遺伝子機能解析に利用可能な *Dazl-Venus/Cre* ノックインラットの作製

○小林　俊寛[1,2)]、吉田　史香[2)]、山内　恵子[2)]、平林　真澄[2)]

[1)]東京大学医科学研究所、[2)]生理学研究所

### P-013　野生マウス系統の効率的なゲノム編集のための *i*-GONAD法の活用

○小出　剛[1,2)]、田邉　彰[3)]、松山　誠[4)]、今井　悠二[1)]

[1)]国立遺伝学研究所マウス開発研究室、[2)]総合研究大学院大学生命科学研究科遺伝学専攻、
[3)]理化学研究所生命機能科学研究センター、[4)]重井医学研究所分子遺伝部門

### P-014　顕微授精技術を用いた無精子症マウスからの産子作出

○越後貫　成美[1)]、日野　敏昭[2)]、大澤　優生[3)]、藤原　靖浩[4)]、水野　聖哉[3)]、井上　貴美子[1,3)]、
国枝　哲夫[5)]、田崎　秀尚[6)]、大月　純子[6)]、立野　裕幸[2)]、杉山　文博[3)]、小倉　淳郎[1,3,7)]

[1)]理研BRC、[2)]旭川医大、[3)]筑波大、[4)]東京大、[5)]岡山理科大、[6)]岡山大学、[7)]理研CPR

### P-015　造血幹細胞同系移植のための新規Kit遺伝子改変ラットの作製と評価

○飯田　龍哉、石田　紗恵子、服部　晃佑、吉見　一人、真下　知士

東京大学医科学研究所実験動物研究施設先進動物ゲノム研究分野

### P-016　体外培養液中のオクタン酸ナトリウム濃度がマウス初期胚の発生に与える影響

○小田　佳奈子[1)]、笹岡　俊邦[1)]、久慈　直昭[2)]

[1)]新潟大学脳研究所動物資源開発研究分野、[2)]東京医科大学産科婦人科学教室

### P-017　ゲノム編集ハムスターの作出とその保存について

○廣瀬　美智子[1)]、冨島　俊子[1)]、小倉　淳郎[1,2,3)]

[1)]理研BRC、[2)]理研CPR、[3)]筑波大学院生命農

## 「遺伝・育種・遺伝子機能」

### P-018　トランスジェニックマウスにおけるマウス・ヒト・ラットH19-ICRのDMR形性能の比較

○谷本　啓司、松崎　仁美

筑波大学生命環境系生存ダイナミクス研究センター

### P-019　マウス精子先体形成におけるPDCL2の機能解析

芳賀　紗緒里[1,2]、小林　清訓[2]、Ferheen Abbasi[2]、遠藤　墾[2,3]、Zhifeng Yu[4]、伊川　正人[2]、Martin Matzuk[4]、○藤原　祥高[1,2,4]

[1]国立循環器病研究センター先端医療技術開発部、[2]大阪大学微生物病研究所、
[3]東京医科歯科大学実験動物センター、[4]ベイラー医科大学創薬センター

### P-020　モノアレリックなゲノム編集技術へ向けた胚操作方法の開発について

○井上　貴美子[1,2]、小倉　淳郎[1,2]

[1]理化学研究所バイオリソース研究センター、[2]筑波大学大学院

### P-021　精巣、精巣上体、あるいは精嚢腺で強発現する4遺伝子は雄マウスの妊孕性に必須ではない

○平　歩夢、篠原　日菜、荒木　喜美、野田　大地

熊本大学生命資源研究・支援センター

### P-022　*i*-GONAD法を用いたC57BL/6J系統Actn3ノックアウトマウスの作製と形質解析

○服部　桜、田村　優樹、鴻崎　香里奈、小谷　鷹哉、木下　涼雅、中里　浩一

日本体育大学

### P-023　染色体工学技術を用いたヒト抗体重鎖・λ軽鎖遺伝子全長を保持する完全ヒト抗体産生マウスの開発

○下谷　和人[1]、森脇　崇史[1,2]、阿部　智志[3]、岡田　茜[1]、香月　加奈子[2]、濱道　修生[2]、香月　康宏[1,2,4]

[1]鳥取大学大学院医学系研究科医科学専攻染色体医工学講座、[2]鳥取大学染色体工学研究センター、
[3]（株）Trans Chromosomics、
[4]自然科学研究機構生命創成探究センター（ExCELLS）染色体工学研究グループ

### P-024　*Cenp-c*$^{\Delta ex2\text{-}4}$はDMBA/TPA多段階皮膚発がんモデルにおいて腫瘍形成を促進する

○徳永　夕莉香[1]、奥村　和弘[2]、磯貝　恵理子[2]、原　昌稔[3]、深川　竜郎[3]、若林　雄一[2]

[1]千葉大学大学院医学薬学府、[2]千葉県がんセンター研究所、[3]大阪大学大学院生命機能研究科

### P-025　大腸炎モデルマウスにおけるMitotic spindle positioning（MISP）の機能解析

○日裏　剛基[1]、丸山　拓巳[1,2]、渡邉　正輝[1]、中野　堅太[2]、岡村　匡史[2]、佐々木　隼人[1]、佐々木　宣哉[1]

[1]北里大学獣医学部実験動物学研究室、[2]国立国際医療研究センター研究所

### P-026　マウス精子の運動性に影響する機能未知遺伝子Gm614の機能解析

○谷川　亜里紗、宮坂　佳樹、徳永　友子、西村　愛美、中尾　和貴

大阪大学医学部附属動物実験施設

## 「疾患モデル」

### P-027　*Cyba*と*Nox2*変異ラットは遺伝的背景および性別に依存した異なる好酸球増多症の発症率を示す

○森　政之[1]、代　健[1]、宮原　大貴[1]、吉見　一人[2,3]、真下　知士[2,3]、樋口　京一[1,4]

[1]信州大学学術研究院バイオメディカル研究所ニューロヘルスイノベーション部門、
[2]東京大学医科学研究所実験動物研究施設先進動物ゲノム研究分野、
[3]東京大学医科学研究所システム疾患モデルセンターゲノム編集研究分野、
[4]長野保健医療大学地域保健医療研究センター

### P-028　高血圧自然発症ラットにおけるグルタミン酸添加水素水の血圧抑制効果

○川上　浩平[1)]、松尾　裕之[1)]、梶谷　尚世[1)]、松本　健一[2)]

[1)]島根大学総合科学研究支援センター実験動物部門、
[2)]島根大学総合科学研究支援センター生体情報RI実験部門

### P-029　Analysis of constipation phenotypes between Lep knockout mice and high fat diet-induced obesity mice

○Hwang Dae Youn, Kim Ji Eun, Jin You Jeong, Roh Yu Jeong, Song Hee Jin, Seol Ayun

Pusan National University

### P-030　コレステロール添加飼料給与下で片腎摘出糖尿病ウサギに作出された腎症

○山本　正敏、水田　あい、落合　雄一郎、高井　直史

北山ラベス株式会社事業部

### P-031　PCKラットにおけるRAS阻害薬の組織保護作用

○吉村　文、白水　貴大、坂田　美和、釘田　雅則、熊本　海生航、長尾　静子

藤田医科大学病態モデル先端医学研究センター

### P-032　中性脂肪代謝異常の新規疾患モデル：アポA-V欠損ウサギの樹立

○新見　学[1)]、松久　葉一[2)]、北嶋　修司[2)]、範　江林[1)]

[1)]山梨大学大学院総合研究部医学域分子病理学講座、[2)]佐賀大学総合分析実験センター生物資源開発部門

### P-033　筋拘縮型エーラス・ダンロス症候群モデルマウスにおける大腸の解析

○小野　史子[1)]、吉沢　隆浩[2)]、高橋　有希[1)]、水本　秀二[3)]、古庄　知己[1,4,5,6)]

[1)]信州大学医学部遺伝医学教室、[2)]信州大学基盤研究支援センター動物実験支援部門、
[3)]名城大学薬学部病態生化学研究室、[4)]信州大学医学部附属病院遺伝子医療研究センター、
[5)]信州大学基盤研究支援センター、[6)]信州大学医学部クリニカル・シークエンス学講座

### P-034　ニホンザルにおける左室緻密化障害の病態および家系性に関する検討

○澤田　悠斗[1)]、兼子　明久[2)]、宮部　貴子[2)]、中山　駿矢[3,4)]、鯉江　洋[3)]、塚本　篤士[1)]、
中村　紳一朗[1)]、揚山　直英[4)]

[1)]麻布大学実験動物学研究室、[2)]京都大学ヒト行動進化研究センター、[3)]日本大学生物資源科学部、
[4)]医薬基盤・健康・栄養研究所霊長類医科学研究センター

### P-035　COVID-19モデルとしてのヒトACE2ノックインマウス作出とSARS-CoV-2感染病態の評価

○三浦　健人[1)]、福士　雅也[2)]、山崎　憲政[1)]、山中　亮憲[1)]、坂口　剛正[2)]、神沼　修[1)]

[1)]広島大学原爆放射線医科学研究所疾患モデル解析、[2)]広島大学大学院医系科学研究科ウイルス学

### P-036　多発性嚢胞腎症患者の遺伝子変異に基づく新規モデルマウスの作成

○釘田　雅則、亀井　優香、坂田　美和、熊本　海生航、吉村　文、白水　貴大、
長尾　静子

藤田医科大学病態モデル先端医学研究センター

### P-037　癌型K-ras発現p53欠失多形型横紋筋肉腫マウスモデル由来の癌幹細胞様細胞株の樹立

○齋藤　浩充、鈴木　昇

三重大学兼基盤推進機構先端科学研究支援センター動物機能ゲノミクス

### P-038　TRECK法を用いた子宮内膜上皮置換

○早川　佳那[1,2]、中野　有紀[1]、遠藤　墾[1,2]、平手　良和[1,2]、末水　洋志[3]、後藤　元人[3]、
高橋　利一[3]、金井　克晃[4]、金井　正美[1,2]

[1]東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科、[2]東京医科歯科大学実験動物センター、
[3]公益財団法人実験動物中央研究所、[4]東京大学大学院農学生命科学研究科

### P-039　ユビキチンリガーゼUBR4欠損マウスはAOM/DSS誘導大腸がんを誘発する

○田崎　隆史[1,2]、佐々木　隼人[3]、佐々木　宜哉[3]

[1]金沢医科大学総合医学研究所蛋白質制御研究分野、[2]金沢医科大学医動物、
[3]北里大学獣医学部実験動物

### P-040　神経セロイドリポフスチン症2型カニクイザルに由来したiPS細胞株の樹立

○下澤　律浩[1]、棟居　佳子[2]、飯島　健太[3]、高林　秀次[3]、八神　健一[4]、石井　一弘[2]、
玉岡　晃[2]

[1]国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所霊長類医科学研究センター、
[2]筑波大学大学院人間総合科学研究科疾患制御医学専攻、
[3]浜松医科大学光尖端医学教育研究センター医用動物資源支援部、[4]筑波大学生命科学動物資源センター

### P-041　マウスにおけるβ1,4-ガラクトース転移酵素4とケラタン硫酸の機能

池田　月、成瀬　智恵、杉原　一司、○浅野　雅秀

京都大学医学研究科附属動物実験施設

### P-042　精巣除去はKFRS4ラットの皮膚炎を悪化させる

北爪　知希、下笠　瞭太、林　健太、長坂　夏奈、○庫本　高志

東京農業大学農学部動物科学科動物栄養学研究室

### P-043　マウスNODとNSY系統の実験的脳マラリアの感受性解析

○宮坂　勇輝、岩竹　望未、大野　民生

名古屋大学大学院医学系研究科実験動物部門

### P-044　RAG1遺伝子ノックアウトミニブタの作出

○小賀坂　祐平、村上　奨、井片　彩乃、井口　佳那、坂中　優介、古本　義則、千代　豊

全農飼料畜産中央研究所

### P-045　ノックインマウス作製のための*i*-GONAD法の開始時間の最適化

○高林　秀次、飯島　健太、青島　拓也

浜松医科大学光尖端医学教育研究センター医用動物資源支援部

### P-046　マイクロミニピッグによる1型糖尿病モデル作製及び皮下グルコースセンサーの活用について

○関　あずさ、冨田　真一、肥高　智成、入矢　竜一、五十部　大貴、平川　晃平、
本田　晴哉

ハムリー株式会社

### P-047 Dose optimization of lymphodepleting with cyclophosphamide and fludarabine in common marmosets

○Joo-Il Kim[1,2], Euna Kwon[2], Byeong-Cheol Kang[1,2]

[1]Graduate School of Translational Medicine, Seoul National University College of Medicine, Seoul, Korea,
[2]Department of Experimental Animal Research, Biomedical Research Institute, Seoul National Univ. Hospital, Seoul, Korea

### P-048 アトピー性皮膚炎治療薬を用いたKFRS4ラットの皮膚炎の評価

○ホアン　ヒエウ[1]、井上　裕貴[2]、高村　莉多[1]、田代　和[1]、岩田　尚孝[2]、庫本　高志[1]

[1]東京農業大学農学研究科動物学専攻動物栄養学研究室、
[2]東京農業大学農学研究科動物学専攻動物繁殖学研究室

### P-049 Efficacy studies using echocardiography in a rat myocardial ischemia/reperfusion injury model

○Woori Jo[1], Seokyoung Song[2], KilSoo Kim[1]

[1]Preclinical Research Center, Deagu-Gyeongbuk Medical Innovation Foundation, K-MEDI hub, Korea,
[2]Department of Anesthesiology and Pain Medicine, School of Medicine, Catholic University of Daegu, 42472, South Korea

### P-050 糖鎖認識受容体DCIRは破骨細胞のMCSFとRANKLの下流シグナル経路を制御する

○海部　知則[1]、丸橋　拓海[2]、鄭　王秀絢[3]、清水　謙次[2]、中村　晃[1]、岩倉　洋一郎[3]

[1]東北医科薬科大学医学部免疫学教室、[2]東京大学定量生命科学研究所応用定量生命科学研究部門、
[3]東京理科大学生命医科学研究所実験動物学研究部門

### P-051 新規ポドサイト障害マウスモデル Pod-TRECKの開発

○角谷　桃花[1]、渡邉　正輝[1]、日裏　剛基[1]、中野　堅太[2]、岡村　匡史[2]、佐々木　隼人[1]、佐々木　宣哉[1]

[1]北里大学獣医学部実験動物学研究室、[2]国立国際医療研究センター研究所

### P-052 Muc1遺伝子座へEGFPをノックインしたマウスの発現解析

○鈴木　治、小浦　美奈子、内尾　こずえ、佐々木　光穂、土井　悠子

医薬健栄研・疾患モデル

### P-053 Nanog過剰発現結腸がん細胞の定量的転移能評価モデル

○斉藤　美佳子、辺見　拓也、櫻井　萌衣

東京農工大学工学府生命工学専攻

### P-054 Requirement of TDP-43 binding region for mouse development

○Tra Thi Huong Dinh[1], Shinya Ayabe[2], Atsushi Yoshiki[2], Haruhisa Inoue[3,4], Takanori Amano[1]

[1]Next Generation Human Disease Model Team, RIKEN BRC, Ibaraki, Japan,
[2]Experimental Animal Division, RIKEN BRC, Ibaraki, Japan,
[3]iPSC-based Drug Discovery and Development Team, RIKEN BRC, Ibaraki, Japan,
[4]Center for iPS Cell Research and Application (CiRA), Kyoto University, Kyoto, Japan

### P-055 異種膵島移植のための重症免疫不全マウスを背景とした新規糖尿病モデルマウスの樹立

○中野　堅太[1]、福田　沙月[2]、後藤　元人[3]、矢部　茂治[2]、高橋　利一[3]、丸山　拓巳[1]、清水　有紀子[1]、大河内　仁志[2]、岡村　匡史[1]

[1]国立国際医療研究センター動物実験施設、[2]国立国際医療研究センター細胞組織再生医学研究部、
[3]実験動物中央研究所

### P-056 The chemo-preventive effect of compound K-Enriched Korean Red Ginseng in lung cancer

Jung Ho Hwang[1)], Ju Hee Kang[1)], Hyun Jin Jung[1)], Se Yong Park[2)], Han Joo Maeng[1)], Min Koo Choi[3)], Ha Suk Song[4)], JiWon Park[1)], ○Seung Hyun Oh[1)]

[1)]College of Pharmacy, Gachon University, Incheon, South Korea,
[2)]College of Veterinary Medicine, Seoul National University, Seoul, South Korea,
[3)]College of Pharmacy, Dankook University, Cheonan, South Korea, [4)]Nutrapanax Co., Ltd., Seoul, South Korea

## 「加齢・老化」

### P-057 Parturition delay and fetal demise in aged primigravid mice

○Hossam Shawki. H, Minisy Fatma.M, Hisashi Oishi

Department of Comparative and Experimental Medicine, Nagoya City University,

## 「その他の分類」

### P-058 NZWウサギにおける加齢に伴う眼圧及び視神経乳頭の変化

○竹入　正和[1,2)]、上島　和己[1)]、落合　雄一郎[2)]、酒井　一彦[1)]

[1)]北山ラベス株式会社伊那生産場、[2)]北山ラベス株式会社事業部

### P-059 個別飼育KbI:NZWウサギにおける週齢と角膜受傷の関係

○宮下　拓也[1)]、畠中　周作[1)]、落合　雄一郎[2)]、高井　直史[2)]、竹澤　英利[1)]、酒井　文一[1)]

[1)]北山ラベス株式会社箕輪生産場、[2)]北山ラベス株式会社事業部

### P-060 簡易型金属製アイソレーターの開発

○小林　裕文[1)]、佐々木　謙[1)]、園城寺　里美[1)]、浅田　義人[1)]、金子　稔[2)]

[1)]三協ラボサービス株式会社、[2)]有限会社新東洋製作所

### P-061 実中研、CIEAセミナーI-1：基礎総合研修のZoomによるオンライン化の効果

○橋本　晴夫、高倉　彰

公益財団法人実験動物中央研究所

### P-062 組換えカニクイザル卵胞刺激ホルモンの産生

○守村　敏史、依馬　正次

滋賀医科大学動物生命科学研究センター幹細胞・ヒト疾患モデル研究分野

### P-063 エポキシ樹脂埋め込み型マウス骨格標本の作製

○鈴木　大介[1)]、谷家　はな[1)]、堀川　陽子[1)]、根尾　櫻子[2)]

[1)]神戸学院大学栄養学部、[2)]麻布大学獣医学部獣医学科臨床診断学

### P-064 Mouse bioassay for tetrodotoxin with animal welfare

○Muhammad Ramadhoni Aldino、飯島　知保、鈴木　穂高

茨城大学

## 「脳・神経・行動」

### P-065 マウスの行動実験における飼育棚の高さの影響

○上野　浩司[1)]、富本　佳奈[1)]、高橋　優[2)]、石原　武士[2)]

[1)]川崎医療福祉大学医療技術学部臨床検査学科、[2)]川崎医科大学精神科学教室

### P-066　アポリポ蛋白E-アミロイド前駆体蛋白結合を標的としたアルツハイマー病の治療法の開発

○藤原　正和、小山　直基、森　隆

埼玉医科大学総合医療センター研究部

### P-067　老化促進モデルマウスの前頭前皮質における Parvalbumin 陽性ニューロンと Perineuronal Nets

○富本　佳奈[1)]、高橋　優[2)]、石原　武士[3)]、上野　浩司[1)]

[1)]川崎医療福祉大学医療技術学部臨床検査学科、
[2)]School of Pharmacy, Bandung Institute of Technology, Indonesia、[3)]川崎医科大学精神科学教室

### P-068　卵巣摘出処置はC57BL6/J及びAPPノックインマウスのアルツハイマー病関連行動表現型を緩和する

○藤井　一希[1,2,3)]、腰高　由美恵[2)]、安達　真由美[2)]、松尾　美奈[2)]、柳橋　裕子[2)]、
木村　公洋[4)]、斉藤　貴志[5)]、西道　隆臣[6)]

[1)]富山大学学術研究部医学系行動生理学講座、
[2)]富山大学研究推進機構 研究推進総合支援センター生命科学先端研究支援ユニット動物実験施設、
[3)]富山大学アイドリング脳科学研究センター、
[4)]富山大学大学院生命融合科学教育部認知・情動脳科学専攻行動生理学講座、
[5)]名古屋市立大学医学研究科認知症科学分野、
[6)]国立研究開発法人理化学研究所神経蛋白制御研究チーム

### P-069　ミトコンドリア障害と神経細胞特異的なレヴィー病変をもつFBXO7欠損マウスの病態解析

○野田　幸子[1)]、佐藤　栄人[1,2)]、多田　昇弘[2)]、服部　信孝[1)]

[1)]順天堂大学医学部神経学講座、[2)]順天堂大学医学部疾患モデルセンター

### P-070　自然老化したB6亜系統マウスの行動学的な加齢変化について

○アルムニア　フリオ[1)]、冨田　耕平[2)]、高野　一路[2)]、河崎　晴香[1)]、森川　信子[1)]、小木曽　昇[1)]

[1)]国立長寿医療研究センター実験動物管理室、[2)]株式会社ケー・エー・シー

### P-071　長鎖ノンコーディングRNA Tincrにコードされたユビキチン様タンパク欠損マウスにおける行動表現型解析

○木村　公洋[1)]、水品　純太[2)]、藤井　一希[3,4,5)]、腰高　由美恵[3)]、安達　真由美[3)]、
柳橋　裕子[3)]、本郷　翔子[3)]、相澤　康則[6)]、高雄　啓三[1,3,4,5)]

[1)]富山大学大学院生命融合科学教育部認知・情動脳科学専攻行動生理学講座、
[2)]富山大学理学部生物学科、
[3)]富山大学研究推進機構 研究推進総合支援センター生命科学先端研究支援ユニット動物実験施設、
[4)]富山大学学術研究部医学系行動生理学講座、
[5)]富山大学アイドリング脳科学研究センター、[6)]東京工業大学生命理工学院

### P-072　Transcriptome analysis in the retina of mice with experimental autoimmune encephalomyelitis

○ Sungmoo Hong[1)], Sohi Kang[2)], Changjong Moon[2)], Taekyun Shin[1)]

[1)]Department of Veterinary Anatomy, College of Veterinary Medicine and Veterinary Medical Research Institute, Jeju National University, Republic of Korea,
[2)]Department of Veterinary Anatomy and Animal Behavior, College of Veterinary Medicine and BK21 FOUR Program, Chonnam National University, Republic of Korea

## 「管理・施設・倫理・福祉」

### P-073　実験動物器材メーカーの人に寄り添った人材育成 ― 実験動物技術者目線から現場を知る ―

○上原　爽[1)]、高橋　沙英[1)]、永井　類[1)]、橋本　史哉[1)]、佐々木　貴大[1)]、伴野　圭祐[1)]、
横溝　敏一[1)]、藤澤　修平[1)]、山岸　義尚[1)]、夏目　知佳子[1)]、野田　義博[2)]

[1)]株式会社夏目製作所、[2)]地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所実験動物施設

### P-074　実験動物器材メーカーの人に寄り添った人材育成 ― 飼育管理者目線から現場を知る ―

○橋本　史哉[1)]、佐々木　貴大[1)]、伴野　圭祐[1)]、上原　爽[1)]、高橋　沙英[1)]、永井　類[1)]、
横溝　敏一[1)]、藤澤　修平[1)]、山岸　義尚[1)]、夏目　知佳子[1)]、野田　義博[2)]

[1)]株式会社夏目製作所、[2)]地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所実験動物施設

### P-075　ビニールアイソレータの連結スリーブ滅菌の代替法の検討

○水澤　卓馬[1)]、今井　都泰[1,2)]、岡崎　貢[3)]、小倉　智幸[1)]、高倉　彰[1)]、高橋　利一[1)]

[1)]公益財団法人実験動物中央研究所、[2)]株式会社ジック、[3)]株式会社グロービック

### P-076　Health monitoring program of K-MEDI hub preclinical research center

Minji Seong[1,2)], Se-Kyung Oh[1)], Hyejin Kim[1)], Geumi Park[1)], An Sanghy[1)], Dongkyu Kim[1)],
Kil-Soo Kim[1)], ○Eui-Suk Jeong[1)]

[1)]Preclinical Research Center, Daegu-Gyeongbuk Medical Innovation Foundation,
[2)]Department of Biological Sciences, Pusan National University

### P-077　飼育ラック自動給水配管内の従属栄養細菌数調査と消毒方法の検討

○坂本　亘[1,2)]、中尾　聡宏[2)]、竹尾　透[2)]

[1)]熊本大学技術部、[2)]熊本大学生命資源研究・支援センター（CARD）資源開発分野

### P-078　NOGマウスの輸送における環境データの収集

○小倉　智幸[1)]、西脇　恵[2)]、遠藤　威[2)]、香川　貴洋[1)]、後藤　元人[1)]、高倉　彰[1)]、高橋　利一[1)]

[1)]公益財団法人実験動物中央研究所、[2)]日本クレア株式会社

### P-079　生産動物ラット飼育室におけるウェットシャワー運用の廃止とその検証

○丸山　滋、後藤　洋平

ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社

## 「実験手技・代替・麻酔・鎮痛」

### P-080　実験動物におけるDXの試みその2 ― 非接触方法でのラット呼吸数および心拍数測定 ―

○川辺　敏晃[1)]、喜多　章太[1)]、千田　廉[1,3,4)]、大村　功[1)]、道野　隆二[2)]、渡辺　秀典[2)]、
山内　寿人[1)]、井上　聖也[1)]、孫　光鎬[4)]

[1)]アーク・リソース株式会社、[2)]熊本県産業技術センター、[3)]バイセン株式会社、[4)]電気通信大学

### P-081　シリアンハムスターの生体外における胚操作技術の確立

○繁田　麻葉、戸部　有紗、井上　健一、阿部　高也、清成　寛

国立研究開発法人理化学研究所生命機能科学研究センター（BDR）生体モデル開発チーム

### P-082　マウス安楽死処置薬としてのセコバルビタールの有効性についてII ― 体外受精におよぼす影響 ―

○田熊　究一、若菜　茂晴

神戸医療産業都市推進機構動物実験飼育施設

## 「微生物・感染・免疫」

### P-083　国内の微生物モニタリング被検マウスにおける *Staphylococcus aureus* 感染症の病理報告（2020～2021年）

○保田　昌彦[1)]、田中　舞[2)]、鎌井　陽子[1)]、森田　華子[2)]、富山　友里奈[2)]、望月　美沙[1)]、石田　智子[2)]、川井　健司[1)]、林元　展人[2)]

[1)]公益財団法人実験動物中央研究所病理解析センター、
[2)]公益財団法人実験動物中央研究所ICLASモニタリングセンター

### P-084　乾癬発症における補体C3a/C3aRの役割の解明

○村山　正承

関西医科大学附属生命医学研究所モデル動物部門

### P-085　マウス感染症血清診断用多項目イムノクロマトスティックの輸送条件の検討

○土佐　紀子[1)]、石田　智子[2)]、吉松　組子[3)]、林元　展人[2)]、高倉　彰[2)]、有川　二郎[4)]

[1)]北大･医･附属動物実験施設、[2)]実中研･ICLASモニタリングセンター、[3)]北大･遺･附属動物実験施設、
[4)]長崎大・バイオセーフティ管理監室

### P-086　hu-PBL hIL-4 NOGマウスを用いたB細胞機能解析系の検証

○大島　志乃[1)]、山田　壮我[1)]、桐ケ谷　大樹[1)]、關　敏郎[2)]、大野　裕介[3)]、伊藤　良治[3)]、亀谷　美恵[1)]

[1)]東海大学医学部基礎医学系分子生命科学、[2)]東海大学医学部腎内分泌代謝内科、
[3)]実験動物中央研究所

### P-087　T細胞補助シグナル分子CD28のシグナルを増強する低分子化合物の機能評価

○小川　修平[1)]、浅輪　泰允[3)]、飯山　桃樺[2)]、吉森　篤史[4)]、中村　浩之[3)]、織田　昌幸[2)]

[1)]東京理科大学、[2)]京都府立大学、[3)]東京工業大学、[4)]株式会社理論創薬研究所

### P-088　*Entamoeba muris* のPCR検査評価

○梶田　亜矢子、池　郁生

理研バイオリソース研究センター

## 「栄養・生理・生化学」

### P-089　Relationship between thymosin beta4 and NLRP3 inflammasomes during liver fibrosis

○Choi Ji-Hye, Choi Hwal, Lee Sangmin, Lee Jeonghyeon, Kwon Jungkee

Department of Laboratory Animal Medicine, College of Veterinary Medicine, Jeonbuk National University

### P-090　Chronic alcoholic liver injury inhibition of fermented gold kiwi via inflammatory suppression

○Lee Sangmin[1)], Choi Ji-hye[1)], Kwon Hyuckse[2)], Kwon Jungkee[1)]

[1)]Department of Laboratory Animal Medicine, College of Veterinary Medicine, Jeonbuk National University,
[2)]R&D Team, Food & Supplement Health Claims, Vitech

### P-091　Effects of fermented kiwi extracts on gastric Injury in rats

○Choi Hwal, Choi Jihye, Lee Sangmin, Kwon Jungkee

Department of Laboratory Animal Medicine, College of Veterinary Medicine, Jeonbuk National University

### P-092　マウス精巣上体尾部のメタボローム解析手法の確立

○前田　龍成[1)]、下清水　綾菜[1)]、増田　啓介[1)]、中尾　聡宏[1)]、中潟　直己[2)]、竹尾　透[1)]

[1)]熊本大学生命資源研究・支援センター資源開発分野、
[2)]熊本大学生命資源研究・支援センター生殖工学共同研究分野

### P-093　マウス心臓虚血再灌流後の電位依存性カリウムチャネルKv11.3による心筋保護作用の解析

○佐々木　隼人[1)]、大竹　和樹[1)]、松田　静風[1)]、高橋　英機[2)]、岡田　宗善[3)]、山脇　英之[3)]、大谷　紘資[3)]、佐々木　宣哉[1)]

[1)]北里大学獣医学部実験動物学研究室、[2)]九州大学大学院医学研究院基礎医学部門実験動物学分野、
[3)]北里大学獣医学部獣医薬理学研究室

### P-094　マウス初期胚の発生環境温度による遺伝子発現変動の網羅的探索

○吉村　祐貴[1)]、中村　和臣[2)]、檜山　武史[1)]

[1)]鳥取大学医学部医学科統合生理学分野、[2)]鳥取大学医学部附属病院新規医療研究推進センター

### P-095　フィブロスキャンを用いたカニクイザル肝線維化における基準値の樹立

○妻鹿　佑紀[1)]、鯉江　洋[1)]、酒井　克也[3)]、中山　駿矢[1,2)]、山海　直[2)]、保富　康宏[2)]、揚山　直英[2)]

[1)]日本大学獣医生理学研究室、[2)]医薬基盤・健康・栄養研究所霊長類医科学研究センター、
[3)]金沢大学がん進展制御研究所

## 「薬理・安全性」

### P-096　マウス生体内ATP動態の可視化と薬効

○山本　正道、崔　廷米、渡邊　大輝、大町　亜紀、松本　真里

国立循環器病研究センター

### P-097　ALK遺伝子変異を標的とするアルキル化PIポリアミド化合物の抗腫瘍効果の検討

○高取　敦志[1)]、太田　陽子[1,3)]、永瀬　浩喜[2)]、養田　裕行[1)]、井上　貴博[2)]、渡部　隆義[1)]、篠崎　喜脩[2)]

[1)]千葉県がんセンター研究所がん先進治療開発研究室、
[2)]千葉県がんセンター研究所がん遺伝創薬研究室、[3)]千葉中央メディカルセンター和漢診療科

### P-098　深層学習を応用したマウス新規物探索行動試験の自動化

○江上　由美[1)]、岸　拓也[1)]、港　高志[1)]、小林　幸司[1,2)]、村田　幸久[1,2,3)]

[1)]東京大学大学院農学生命科学研究科食と動物のシステム学研究室、
[2)]東京大学大学院農学生命科学研究科放射線動物科学研究室、
[3)]東京大学大学院農学生命科学研究科獣医薬理学研究室

### P-099　画像処理と機械学習を応用した新規物探索行動試験の自動化

○岸　拓也、港　高志、江上　由美、小林　幸司、村田　幸久

東京大学大学院農学生命科学研究科

## 「バイオリソース」

### P-100　ラット研究を促進するリソース事業とモデル動物作製支援―NBRP-RatとAdAMS

○服部　晃佑[1)]、石田　紗恵子[1)]、山内　祐子[1)]、飯田　龍哉[1)]、吉見　一人[1,2)]、真下　知士[1,2)]

[1)]東京大学医科学研究所実験動物研究施設先進動物ゲノム研究分野、
[2)]東京大学医科学研究所システム疾患モデル研究センターゲノム編集研究分野

### P-101　理研BRCにおけるバイオリソース検索システムの運用と機能強化

○臼田　大輝、櫛田　達矢、高田　豊行、桝屋　啓志

理化学研究所バイオリソース研究センター

### P-102　Korean national bioresource project - Marmoset model network center（MMNC）in SNUH, KOREA

○Jina Kwak[1,2)], Joo-Il Kim[1,2)], Young Sook Koo[2)], Hak Young Lee[2)], Yoon-Mi Hwang[2)], Euna Kwon[2)], Jae-Hoon Ahn[2)], Hee Jin Bae[2)], Je Kyung Sung[3,4)], Byeong-Cheol Kang[1,2,5)]

[1)]Graduate School of Translational Medicine, Seoul National University College of Medicine, Korea,
[2)]Department of Experimental Animal Research, Biomedical Research Institute, Seoul National University Hospital, Korea,
[3)]Laboratory of Developmental Biology and Genomics, Research Institute for Veterinary Science, BK21 PLUS Program, Seoul National University College of Veterinary Medicine, Korea,
[4)]Korea Mouse Phenotyping Center (KMPC), Seoul National University, Korea,
[5)]Designed Animal Resource Center, Institute of GreenBio Science Technology, Seoul National University, Korea

### P-103　ゼンノー・ヘアレスWの成長曲線および血液性状

○村上　奨、坂中　優介、古本　義則、山下　司朗、小賀坂　祐平、千代　豊

全農飼料畜産中央研究所

## 「解剖・組織・病理・病態」

### P-104　セミノリピドがもたらす血液精巣関門への影響

○秋山　かのん[1)]、則竹　康佑[1)]、中野　愛里[1,2)]、古瀬　幹夫[3,4)]、山下　竜幸[5)]、本家　考一[6)]、小沢　学[7)]、伊川　正人[7,8)]、藤原　祥高[9)]、岩森　督子[10,11)]、高島　誠司[1)]

[1)]信大繊維、[2)]長大医歯薬、[3)]生理学研究所、[4)]総研大院、[5)]高知大医先端医療学、[6)]高知大、[7)]東大医科研、[8)]阪大微研、[9)]国立循環器病研究センター、[10)]九大院農、[11)]学振RPD

### P-105　脱落膜を用いたマウス胚の遺伝子型同定方法の確立

○今井　啓之[1)]、岩森　巨樹[2)]、岩森　督子[2)]、松屋　純人[3)]、加納　聖[3)]、日下部　健[3)]

[1)]山口大学共同獣医学部獣医解剖学教室、[2)]九州大学大学院農学研究院動物学分野、
[3)]山口大学共同獣医学部獣医発生学教室

### P-106　Dendropanax morbifera leaves extract ameliorates neuronal damage against ischemic damage

Hyo Young Jung[1,2)], Hyun Jung Kwon[3,4)], Woosuk Kim[1,5)], Dae Young Yoo[1,6)], Dae Won Kim[3)],
○In Koo Hwang[1)]

[1)]College of Veterinary Medicine, and Research Institute for Veterinary Science, Seoul National University,
[2)]Institute of Veterinary Science, Chungnam National University,
[3)]Research Institute of Oral Sciences, College of Dentistry, Gangneung-Wonju National University,
[4)]Research Institute for Bioscience and Biotechnology, Hallym University,
[5)]College of Veterinary Medicine, and Veterinary Science Research Institute, Konkuk University,
[6)]Institute of Health Sciences, College of Medicine, Gyeongsang National University

### P-107　月重力は微小重力による筋萎縮を抑制するが、筋線維タイプの変化は抑制しない

○林　卓杜[1)]、藤田　諒[1)]、岡田　理沙[2)]、濱田　理人[1)]、布施谷　清香[1)]、金井　真帆[1)]、井上　由理[1)]、定木　駿弥[1)]、村谷　匡史[1)]、蕨　栄治[1)]、工藤　崇[1)]、芝　大[2)]、高橋　智[1)]

[1)]筑波大学、[2)]国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）有人宇宙技術部門きぼう利用センター

## P-108 N-ethyl-N-nitrosourea-Induced point mutation of leptin receptor showed brain damages in mice

Yi-Ting Chen[1)], ○ Yu-Chia Su[2)]

[1)]Institute of Molecular Biology, Academia Sinica, Taipei, Taiwan,
[2)]National Laboratory Animal Center, National Applied Research Laboratories, Taipei, Taiwan